

平成22年教育委員会第12回臨時会会議録

開会日時 平成22年12月24日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前10時30分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 佐藤 昭
同職務代理 面田 博子
委員 松本 實
委員 遠藤 勝男
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	吉田 義仁
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	木佐森 茂
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	今關総一郎	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・中央図書館長	梅田 義郎

書 記

・企画係長 平井 大介

開会宣言 委員長 佐藤 昭 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 佐藤 昭 委員 面田 博子 委員 山崎 喜久雄

以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○委員長 おはようございます。ただいまから平成22年教育委員会第12回臨時会を開会いたします。

初めに、私事で申しわけございませんが、委員長就任後、早々と委員会を欠席いたしまして大変申しわけなく思っております。おかげさまで体調もどうにか戻ってきました。今後このようなことがないように努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、式次第に沿って始めたいと思います。

本日は、面田委員が再任されましたので、一言ごあいさつをお願いいたします。

○面田委員 1期を頑張ってやれたのも、教育長をはじめ、教育委員の先生方、皆さん方のご支援とご協力のおかげと感謝しております。初心に戻りまして、また今日から改めて子どもたちのために、そして区の教育のために力を押して頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、議事に入らせていただきます。

本日、議案等はございません。

早速ですが、報告事項等に入ります。

報告事項等1「平成22年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について」のご報告をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 それでは、報告事項等1「平成22年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について」、ご報告いたします。

先日、文部科学省から発表がございました「平成22年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の葛飾区の結果について報告をいたします。

調査でございますが、今年度は抽出校の調査ということになりました。小学校5校、中学校2校という参加でございます。対象学年につきましては小学校が5年生、中学校が2年生でございます。

調査内容につきましては、握力や上体起こし、50メートル走などの実技に関する調査と、部活動所属の有無、1日の運動時間等に関する質問紙調査となっております。

資料をごらんいただければと思います。

児童・生徒の進学ということで単純に比較はできないのでございますが、参考までに今年度抽出された学校の昨年度の調査結果について情報を提供いたします。

昨年度の小学校5校の体力合計点の結果は、男子で区の平均を上回る学校は2校、区の平均と同じが1校、下回る学校が2校ということでございます。5校まとめればほぼ区の平均値か

なというところがございます。小学校の女子でございますが、区の平均を上回る学校が3校、下回る学校が2校、これも合計点でとりますとほぼ平均的な値になるかなというふうに思っています。

中学校につきましては、1校は男子が区の平均を上回り、女子は区の平均という学校でございます。もう1校につきましては、全種目を実施していないということで、体力合計点では比較できないのですが、男子は5種目が平均を上回り、1種目が下回っている。女子は2種目が都の平均を上回り、4種目が下回っているということでございます。こちらにつきましても、2校ということではありますけれども、トータルで考えて区の平均とそんなにずれないかなというふうに思っているところでございます。

そんな視点で資料を見ていただければと思うのですが、体力・運動能力調査につきましては東京都平均を若干下回る結果となっておりますけれども、小学校につきましては上回る種目も出てまいりました。詳細を申し上げますと、小学校5年生男子につきましては、反復横跳びが上回り、上体起こしと長座体前屈は同じでございました。その他の5種目は下回っております。小学校5年生女子につきましては、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げの4種目において上回りました。残りの4種目は下回っております。

中学2年生の男子についてでございます。握力は同じ結果、その他については下回る結果となりました。同じく中学校2年生女子につきましては、立ち幅跳びが上回り、それ以外は下回るという結果になりました。都の平均と比較してみますと、どの学年につきましても、全身持久力を測定する持久走、20メートルシャトルランの落ち込みが目立っているかなというふうに思っています。

次に、運動習慣等についてご報告をいたします。

都と比較をしてみますと、小学校の男子は、クラブの加入率、1日の運動時間、「スポーツをすることが好き」と回答した率において上回る結果が出ております。運動・スポーツの実施状況、「スポーツをすることが得意」と回答した率、「運動やスポーツをもっとしたい」と回答した率においては下回る結果となっております。小学校の女子と中学校の男女は、クラブの加入率、運動・スポーツの実施状況、1日運動時間、「スポーツをすることが好き」と回答した率、「スポーツをすることが得意」と回答した率、「運動やスポーツをもっとしたい」と回答した率、すべてにおいて下回る結果が出ています。

これらの結果から、小学校においては、体力、運動に対する意識の改善の兆しが見られるようになってきました。しかし、中学校におきましては、体力向上と運動に対する意識向上は大きな課題であるというふうに考えています。各学校には、次年度の教育課程を編成する際に、学校の教育活動全体を通じて体力の向上に関する取組の充実を図るよう、引き続き指導・助言していきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの室長の報告、説明に対して、何かご質問等ございますでしょうか。

遠藤委員。

○遠藤委員 今、大変詳細な報告がありまして、ありがとうございます。

そこで、私が注目したいのは、東京都との比較はわかりましたが、全国比較を注目したいと思っております。なぜかと言いますと、私たちが葛飾区のスポーツ振興計画の中で、この小・中の体力の向上に向けては、29年度まで全国平均を上回りたいという設定をしたわけでありませう。それがゆえに全国比に注目するわけでありませう。

そこで、私がいろいろ計算をした手元にあるデータを見ますと、小学校5年のものはちょっと見当たらなかつたものですから、中2のデータで全国比を見てみました。そうしましたら、中2の男子におきましては、去年度とことしの平均を葛飾区のデータで比較した場合、握力はほぼ同じなのですが、そのほかほとんどが、全国と比べた場合の差が昨年よりもことしのほうが大きくなつてきているということでありました。女子も一部はほぼ同じものがありますが、ほとんどその差が開いているというデータがあるようでありませう。こういう傾向というのは、小学校5年でも同じなのではございませうか。それをちょっと教えていただければと思ひませう。

○委員長 指導室長。

○指導室長 詳細なデータということではないのですが、都全体の傾向は全国の順位としては上がつてきてございませうので、体力の合計点で見ますと、例えばですが、5年生の男子の合計点で比較してみますと、平成20年度は全国で40位、それが21年度には38位、今年度の実施では34位ということに上がつてきています。また、女子につきましても、37位、35位、32位という形で、全国平均に近づいているという傾向がございませうので、個々のということでは、今、手元に資料がございませうけれども、合計点でいけば、小学校についてはかなり改善の兆しが見えているというふうにて考えております。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 そこで、中学校のほうでは、今申し上げましたように、その差が開いているということでありませうので、これから29年度に向けての改善をやっていく、その方策について用意があるかどうかということをお教えていただければと思ひませう。

○委員長 指導室長。

○指導室長 東京都も、平成30年までを目安にした体育向上の1次計画から3次計画というのを練つてございませう。また、来年度は、全部の学年での体力調査、悉皆調査をするということにございませう。それを受けまして、本区として体力面の課題をもう一度明らかにし、具体的にどんなことを進めていくかということでは、今、小学校の体育部と連携して授業を進めており

ますけれども、新たに中学校でどんなことをしなければいけないかということについては早急に対策を考えていかなければならないというふうに考えています。また、これまでの調査から、本区の子どもたちは瞬発力と持久力がないということは大きな課題ということは明らかになっていますので、その部分については、授業、または全体の教育活動を通じてその力を伸ばしていくということでは指導を進めていきたいというふうに考えています。

以上でございます。

○委員長 ほかに何か。

面田委員。

○面田委員 すばらしいデータが出ているので、やはりこれは有効に使っていききたいなという思いがまずあります。

私、運動習慣のほうが少し気になりながら見させていただきました。都会という、東京というまちの性格かもしれません。運動をする場所がない、機会がないということも影響しているかと思うのだけれども、小学校女子、中学校女子は、「運動が嫌い」というのがちょっと多いなと見ました。都の中学だと8%ぐらいが葛飾区だと14%というのはちょっと……。どういう原因なのかなと。では、運動やスポーツをもっとしたいというのはどうかなと見ると、それも、都が9.5%だけれども、区では16.3%とか、その辺の原因は何なのか、ただ環境だけではないような気がするのですね。

このことは、家庭と学校ときちっと連携をとりながら、子どもたちにとって運動する習慣とかそういうものを進めていかないと、「嫌い」「もっとしたいと思わない」というような数は減っていかない。減らないということは、体力向上が非常に問題になってくるというような思いがありますので、ぜひこのデータ等を有効に使っていただいて、保護者に啓蒙していくとか説明していく、そして保護者自身も考えていただく場を与えてもらいたいというように思いました。

以上です。

○委員長 指導室長。

○指導室長 これも、学力と同じように、体力、またスポーツに対する意識も二極化が進んでいるというふうにとらえております。各学校でこのデータをどう活用していくか、特に意識の問題については授業ということだけでは解決しない問題だというふうにとらえています。食育を含めて、健康教育についてどういうふうに子どもたちの意識を変えていくかということでは、委員ご指摘のように、家庭教育という視点からも協力を仰ぎながら、子どもの生活全体を変えていくという取組をしていかないと、この2極化についてはなかなか難しいかなというふうに考えているところでございます。

○面田委員 よろしく申し上げます。

○委員長 ほかに何か。

秋本委員。

○秋本委員 今まで報告をお聞きしまして、また、大変細かく表にもあらわれていると思います。ありがとうございます。ただ、都の平均より下回る点は少々残念な部分もありますけれども、幾つか上回る部分もあるということで安心しておりますが、「運動が得意」というところでは下回っているということですのでけれども、「スポーツをすることが好き」と回答した部分に対しては少し安心しておりますけれども、また少しずつ順位が上がっているのではないかなということではいいことだと思いますが、体力向上ということに努めて、また皆さん頑張ってやっていかれたらなというふうに思います。また、みんなで、学力だけではなくて体力向上という部分も力を入れていっていただきたいなと思います。

○委員長 指導室長。

○指導室長 区全体でこの問題を喫緊の課題だ、早急に解決すべき課題だというふうにとらえていかなければいけないというふうに思っています。都からも、さまざまな計画の中で、「一つの学校一つの取組、一つの学級一つの実践」ということをスローガンにして取り組んでいくことになっておりますので、これまで小学校さんなどでやられている縄跳び月間とか週間とか、マラソン週間とか月間とか、そういうふうなところをもう少し拡大していくような形での取組を区を挙げて進めていかなければいけない段階に来ているかなというふうにはとらえているところでございます。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 小学校で5校、中学校で2校の抽出校ということで各学校の名前が出ていますけれども、これはどうやって決めるのですか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 これは都からの指定でございまして、恐らくは、小学校は49校のうちの5校ということで10%、中学校については24校の2校ということでこれも10%という抽出になっているというふうに考えてございます。

○委員長 ほかに。

面田委員。

○面田委員 今、指導室長から、「一つの学校一つの取組、一つの学級一つの実践」ですか、いい言葉だなと思いながら聞きました。ぜひ来年あたり各学校がそういうことを具体的に前向きにとらえていただいて頑張っていただけることを期待したいと思います。

○委員長 ほかにございますか。

松本委員。

○松本委員 昨年度は全校で調査して、今度、抽出校でやってみても、大体同じように課題が

見えてきたわけです。私が思いますには、一つは、先ほどから出ているように、学校の教職員とか子どもたちが、葛飾の子どもたちは体力が課題であるという意識がなくて、一生懸命、真面目にテスト等を受けていない部分があるのではないかと思います。

もう一つは、先ほども出ましたように、現場を見ていると、部活動とか地域のクラブで一生懸命頑張っている子はいいのですけれども、そうでない、運動習慣が定着していない子どもの二極化の下の部分が相当成績を下げているなということが考えられます。つきましては、先日、新聞だったかテレビで出ていたのですけれども、東京都があまり芳しくないのが、体力の向上を全面的に打ち出して、聞くところによると、全部の学校を調べて対策を打っていくということが出ていましたので、それを受けとめて重く意識づけてやっていけば、学力はなかなか伸びないのですけれども、体力については数字になってあらわれてくると思うので、ぜひとも「葛飾の子どもは元気がいい」「体力がある」という状況に持っていきたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長 指導室長。

○指導室長 先週、報道もあったわけですが、体力の上位県というのはやはり福井県とか秋田県とか、下位のところは……ということで、やはり学力と体力というのは同じ傾向を示しているということもあります。また、東京都がこのことを課題というふうにとらえて、来年度は90万人規模の悉皆調査を早い段階に行って、課題を見つけて、都の言い方をしますと、「体力向上東京大作戦」というのを実施していくということのようでございます。それとリンクできるものはリンクし、また、本区の子どもの課題である持久力というのは、松本委員ご指摘のように、テストそのものに一生懸命取り組むか取り組まないかで数値は変わってくるものだというふうにもとらえております。その辺の意識も含めて、また、学校を回らせていただくと、体育の授業で見学の多いちょっと気になる学校さんもないわけではありません。そういうところも含めて、学校全体でこの問題は、委員ご指摘のように、課題なんだ、改善していかなければいけないんだというところを指導室としてはもっともっと強くアピールし、また指導・助言していきたいというふうにご考えているところでございます。

○委員長 ほかにはございませんか。よろしいですね。

(「はい」の声あり)

○委員長 ないようですので、報告事項等1は了承とさせていただきます。

次に、報告事項等2「葛飾区文化・芸術・スポーツ功労章の表彰について」のご報告をお願いいたします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは、報告事項等2「葛飾区文化・芸術・スポーツ功労章の表彰について」、ご報告させていただきます。

こちらは、先日、22年12月13日、区長応接室にて行われました表彰でございます。

表彰の対象の方は、田中僚さん、金町スイミングクラブ所属で、常盤中学校1年生でございます。

表彰理由でございますが、先日、8月26日に東京辰巳国際水泳場にて行われました第33回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会におきまして、男子100メートル平泳ぎ、11歳～12歳クラスで、全国第1位という成績をおさめられたことによります。こちらの大会は文部科学省の後援を受けてございます。こちらはジュニアオリンピックカップでございますが、18歳以下の高校生以下の方の大会でございます。こちらの11歳～12歳クラスでの受賞でございます。8月26日の決勝のレースでございますが、田中僚さんが1分6秒67という成績で大会新記録をマークしました。それにより受賞されたものでございます。

ちなみに、この田中さんなのですが、翌日行われました男子50メートルの平泳ぎ決勝でも、惜しくも第2位ということですので素晴らしい成績をおさめられてございます。ちなみに、100メートルのこの優勝、大会新の記録でございますが、具体的な数字はわからないのですけれども、北島康介選手の同年代のときの記録よりもいいということで、かなり期待される方と聞いてございます。今後、JOCの強化選手にも選ばれる見込みと聞いてございますので、今回表彰させていただいたということでございます。

以上、ご報告させていただきました。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの生涯スポーツ課長のご説明に何かご質問等ございますでしょうか。ありませんか。なければ、報告事項等2は了承とさせていただきます。

報告事項は以上ですが、ここで教育委員の皆さんより発言がございましたらよろしく願いたします。何かありますでしょうか。ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 ないようですので、続いて、「その他」の事項に入ります。

庶務課長、一括してご説明をお願いいたします。

○庶務課長 まず、配付資料でございます。お手元に1月の行事予定表をお配りしてございます。1月10日「はたちのつどい」など、多くの行事が1月に予定されておりますので、ご参加いただけたら幸いです。

次に、「みんなの生涯学習 (No.102)」を配付してございます。後ほどごらんおきいただきたいというふうに思います。

次に、2「出席依頼」でございます。今回は4件ございます。まず、1月27日、中学校音楽鑑賞教室は面田委員に、2月12日、中学校科学センター閉室式は松本委員に、2月15日、教育推進モデル校報告会は佐藤委員長に、2月19日、小学校科学センター閉室式を遠藤委員に、そ

れぞれお願いしたいというふうに思います。よろしくお願ひいたします。

最後に、次回の教育委員会でございます。1月11日火曜日午前10時から、よろしくお願ひをいたします。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

何かご意見、ご質問ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 ないようですので、これをもちまして、平成22年教育委員会第12回臨時会を閉会といたします。

閉会時刻 10時30分